

(第3種郵便物認可)

## ウクライナから避難

# 音楽家の男性、大仙へ

ロシアによる軍事侵攻が続くウクライナから避難した男性が16日、秋田空港に到着し、滞在先の大仙市に入った。県内への避難者は先月到着した母子に続いて3人目。

## 母子に続き県内3人目

男性はウクライナ南東部出身で音楽家のアレクサンドル・ガバリヨロフさん(71)。キーウからイスタンブールなどを経由して15日夜に羽田空港に降り立ち、16日朝に秋田空港に到着した。

夕方には、身元引受人となる大仙市の佐々木正光さん(72)が経営する市内の宿泊施設で、先月9日に来県したタチアナ・リチンスカヤさん

の被ばく者支援に取り組んでおり、以前からガバリヨロフさんと交流があった。ガバリヨロフさんはピアノやギターの奏者としてクルーズ船に乗り、日本国内を巡ったことがあるが、秋田を訪れたのは初めてという。

1週間程度この宿泊施設で静養した後、佐々木さんが手配した市内の滞在先で避難生活を送る。佐々木さんは秋田の自然を楽しみながら、地元の人たちと音楽を通じて交流してほしいと話した。

佐々木さんはさらに、月内にも、ウクライナの親子3人の受け入れを予定している。

(佐藤将弥)

夕食前にアコーディオンを演奏するガバリヨロフさん(中央)。先月避難してきたタチアナさん(手前右)、マリアさん(向き)親子とも交流した

